

試験結果報告書

島根県仁多郡奥出雲町横田1536
株式会社ケイナン 御中

島根県出雲市斐川町荏原2750-5
株式会社ツチケン
島根県東部建設試験センター
TEL (0853)73-7137
FAX (0853)73-7138

ご依頼いただいた試験の結果を別紙の通り報告致します。

記

業 務 名	: アスファルト事前審査
試 料 名	: 砂(加工砂)細砂
産 地	: 骨材ストックヤード

試験内容 : 骨材のふるい分け試験
細骨材の密度及び吸水率試験
硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験
骨材中に含まれる粘土塊量の試験

JIS A 1102		骨材のふるい分け試験			241118	
調査件名 アスファルト事前審査			試験年月日 令和 7年 3月 18日			
試料名 砂(加工砂)細砂			試験者 黒崎 淳			
試料の種類		砂	採取年月日		令和 7年 3月 17日	
試料の産地		骨材ストックヤード	採取者		株式会社 ケイナン	
全乾燥試料質量		580.0 g	ふるい分け方法		手動+機械	
ふるい目の開き (mm)	各ふるいにとどまる 質量 (累加) (g)	連続する各ふるいの 間にとどまる質量 (g)	連続する各ふるいの 間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいにとどまる 質量分率 (%)	各ふるいを通過する 質量分率 (%)	
106						
75						
63						
53						
37.5						
31.5						
26.5						
19.0						
16.0						
13.2						
9.5	0.0	0.0	0	0	100	
4.75	0.0	0.0	0	0	100	
2.36	16.2	16.2	3	3	97	
1.18	147.1	130.9	23	26	74	
0.6	313.6	166.5	28	54	46	
0.3	442.2	128.6	22	76	24	
0.15	531.7	89.5	15	91	9	
0.075	569.6	37.9	7	98	2	
以下	580.0	10.4	2	100	0	
計	580.0	580.0	100			
粗粒率 (F . M)				2.50		

<粒度加積曲線図>

備考 試験前試料質量580.4g

舗装調査・ 試験法便覧A002	細骨材の密度及び吸水率試験	241118
--------------------	---------------	--------

調査名・目的 アスファルト事前審査

試料名	砂(加工砂)細砂	試験者	黒崎 淳
産地	骨材ストックヤード	試験場所	島根県東部建設試験センター
採取者	株式会社 ケイナン	試験年月日	令和7年3月18日
採取年月日	令和7年3月17日	最大寸法(mm)	2.36
		フラスコの容積	500 ml

試験室の状態	室温(℃)	湿度(%)	水温(℃) ^{*1)}	水温における水の密度(g/cm ³)
	20	38	19	0.9984

測定番号		1	2
密度試験	①フラスコ番号	B4003-2	B4003-3
	②(フラスコ+水)の質量 (g)	666.1	666.5
	③フラスコの質量 (g)	167.1	167.9
	④水の質量 ②-③ (g)	499.0	498.6
	⑤試料の質量 (g)	501.1	500.9
	⑥(フラスコ+試料+水)質量 (g)	971.35	971.9
	⑦加えた水の質量 ⑥-(③+⑤) (g)	303.15	303.1
	⑧表乾密度 ⑤×ρ _w /((④-⑦)) (g/cm ³)	2.554	2.558
	⑨2回の試験の平均値 (g/cm ³)	2.556	
	平均値からの偏差 ^{*2} (g/cm ³)	0.002	
	⑩乾燥後の資料の質量 (g)	493.3	494.4
	⑪かさ密度 ⑩×ρ _w /((④-⑦)) (g/cm ³)	2.515	2.525
	⑫2回の試験の平均値 (g/cm ³)	2.520	
	平均値からの偏差 ^{*2} (g/cm ³)	0.005	
吸水試験	⑬含水量 ⑬-⑭ (g)	6.9	6.7
	⑭見掛密度 ⑩×ρ _w /((④-⑦-⑬)) (g/cm ³)	2.607	2.614
	⑮2回の試験の平均値 (g/cm ³)	2.611	
	平均値からの偏差 ^{*2} (g/cm ³)	0.004	
	⑯乾燥前の試料の質量 (g)	500.2	501.1
	⑰乾燥後の試料の質量 (g)	493.3	494.4
	⑱吸水率 ((⑯-⑰)/⑰)×100 (%)	1.40	1.36
	⑲2回の試験の平均値 (%)	1.38	
	平均値からの偏差 ^{*3} (%)	0.02	

*1 試験に用いる水の温度は20±5℃でなければならない。また気泡除去後前後の水温長は1℃を超えてはならない。

*2 平均値からの差が、0.01g/cm³ 以下でなければならない

*3 平均値からの差が、0.05% 以下でなければならない

*4 試験に用いた水の温度は1℃まで読み、次表の該当する水温に対応する水の密度を用いる

水の密度 ρ _w											
水温(℃)	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
密度	0.9991	0.9989	0.9988	0.9986	0.9984	0.9982	0.9980	0.9978	0.9975	0.9973	0.9970

JIS A 1122	硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験	241118
------------	--------------------	--------

調査名・目的 アスファルト事前審査

試料名	砂(加工砂)細砂	試験者	黒崎 淳
産地	骨材ストックヤード	試験場所	島根県東部建設試験センター
採取者	株式会社 ケイナン	試験年月日	令和 7年 3月 28日
採取年月日	令和 7年 3月 17日	最大寸法 (mm)	2.36

試験日の状態	室温 (℃)	湿度 (%)	水温 (℃)	乾燥温度 (℃)
	22	52		105

記事 比重浮標 1.160

通るふりい (mm)	とどまるふ るい (mm)	①各群の質 量分率 (%)	②試験前の 各群の質量 (g)	③試験後の 各群の質量 (g)	④各群の損失質量分率 $(1 - \frac{③}{②}) \times 100$ (%)	骨材の損失 質量分率 $\frac{① \times ④}{100}$ (%)
---------------	---------------------	---------------------	-----------------------	-----------------------	--	---

細骨材の安定性試験						
0.3	-	24	—	—	—	—
0.6	0.3	22	100.0	99.5	0.5	0.1
1.18	0.6	28	100.0	99.3	0.7	0.2
2.36	1.18	23	100.0	99.0	1.0	0.2
4.75	2.36	3	—	—	1.0	0.0
9.5	4.75	—	—	—	—	—
合 計		100				0.5

粗骨材の安定性試験						
9.5	4.75	—	—	—	—	—
16.0	9.5	—	—	—	—	—
19.0	16.0	—	—	—	—	—
26.5	19.0	—	—	—	—	—
37.5	26.5	—	—	—	—	—
合 計		—				—

観 察 (岩石)	試験前個数(個)	異常を認めた個数(個)	破壊状況
	—	—	—

注(1) 全質量の5%に満たない群のものについては、実際に試験を行った最も近い群の損失質量分率を採用する。
ただし、最も近い群が二つある場合は、二つの平均値とする。

JIS A 1137	骨材中に含まれる粘土塊量の試験	241118
------------	-----------------	--------

調査名・目的 アスファルト事前審査

試料名	砂(加工砂)細砂	試験者	黒崎 淳
産地	骨材ストックヤード	試験場所	島根県東部建設試験センター
採取者	株式会社 ケイナン	試験年月日	令和 7年 3月 24日
採取年月日	令和 7年 3月 17日	最大寸法 (mm)	2.36

試験室の状態	室温 (℃)	湿度 (%)	水温 (℃)	乾燥温度 (℃)
	22	39		105
記 事				

細骨材の粘土塊量試験

測定番号	1	2	1	2
① 試験前の試料の乾燥質量 (g)	228.3	222.9	—	—
② 試験後の試料の乾燥質量 (g)	228.3	222.8	—	—
③ 損失質量 ① - ② (g)	0.0	0.1	—	—
④ 粘土塊量 $\frac{③}{①} \times 100$ (%)	0.00	0.04	—	—
⑤ 平均値 (%)	0.02		—	
⑥ 測定値の差 (%)	0.02		—	

粗骨材の粘土塊量試験

測定番号	1	2	1	2
⑦ 試験前の試料の乾燥質量 (g)	—	—	—	—
⑧ 試験後の試料の乾燥質量 (g)	—	—	—	—
⑨ 損失質量 ⑦ - ⑧ (g)	—	—	—	—
⑩ 粘土塊量 $\frac{⑨}{⑦} \times 100$ (%)	—	—	—	—
⑪ 平均値 (%)	—		—	
⑫ 測定値の差 (%)	—		—	

注(1) 試験を2回行った場合は、平均値との差が0.2%以下でなければならない。